

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 ヴィンキュラム ジャパン株式会社
 コード番号 3784 URL <http://www.vinculum-japan.co.jp/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 西條 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 06-6348-8951
 平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,067	15.1	93	—	97	—	59	—
24年3月期第2四半期	4,403	△1.7	△165	—	△133	—	△75	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 60百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △79百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1,873.30	1,867.64
24年3月期第2四半期	△2,406.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	5,696	3,739	60.8	109,996.83
24年3月期	5,406	3,553	63.4	108,816.91

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 3,464百万円 24年3月期 3,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年3月期	—	1,000.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	12.5	263	—	253	—	165	—	5,238.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	31,500 株	24年3月期	31,500 株
25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
25年3月期2Q	31,500 株	24年3月期2Q	31,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景として国内景気に緩やかな回復基調が見られたものの、欧州債務危機や中国経済の減速に伴う海外景気の更なる下振れ懸念や長引くデフレや円高の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

情報サービス産業、とりわけ当社の主要分野である流通・サービス業分野におきましては、企業業績が回復に向かいつつあるものの、顧客のIT投資に関する慎重な姿勢は根強く、引き続き低調な環境下での推移となりました。

このような環境の中、当社グループは、グループ力を結集しグローバル企業としての新たな成長ステージへと飛躍するために、中期経営計画における3つの基本戦略（特定顧客〔注〕化戦略・グローバル戦略及び商品・サービスの差別化戦略）に基づき収益基盤の安定化・強化及びグローバル企業としての基礎作りを継続的に推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間までの主な施策といたしましては次のとおりとなります。

①特定顧客化戦略

新規の特定顧客を開拓することに取り組んだ結果、特定顧客化に繋がる大型案件を受注することができました。また、既存の特定顧客に対しては、新サービスの提案、運用・保守業務のサービス拡大を図るなど積極的な営業活動を行った結果、売上規模及び受注拡大に繋げることができました。

②グローバル戦略

アセアン地域及び中国への更なる事業拡大を図るため、マレーシアにVinculum Malaysia Sdn. Bhd.（略称：VMC、日本語名称：ヴィンキュラム マレーシア株式会社）を平成24年7月に設立し、中国においては、BPO（Business Process Outsourcing）事業を行う合弁会社である永旺永楽（杭州）服務外包有限公司の設立を決定し、事業開始に向けての準備を進めてまいりました。

③商品・サービスの差別化戦略

顧客の規模やニーズに合わせた最適なサービスを低コスト・短納期で提供し、新規顧客開拓と収益力向上を図るために、クラウドサービスによる当社プロダクト製品の機能拡充、ラインアップ拡充等を積極的に進めてまいりました。また、グローバル化に連動したプロダクト製品のローカライゼーション（言語対応、税制対応、通貨対応など）に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、次のとおりとなりました。

売上高は50億67百万円となり前年同期比6億63百万円（15.1%）の増加、利益面は営業利益93百万円（前年同期は営業損失1億65百万円）、経常利益97百万円（前年同期は経常損失1億33百万円）、四半期純利益59百万円（前年同期は四半期純損失75百万円）となりました。

売上高につきましては、特定顧客化戦略によるアウトソーシング案件が増加し、また、ライセンス販売が好調であったこと、MD基幹システムに関する大型開発案件等による売上も順調に推移したこと等により、前年同期を上回る結果となりました。

利益面につきましては、ライセンス販売が好調であったこと、特定顧客向けアウトソーシング案件の増加及び収益構造の改善等により、各段階利益率が改善し前年同期を大幅に上回る結果となりました。

〔注〕特定顧客

当社のビジネスモデルであるパッケージプロダクトを梃子に、各業種業態の有力企業のソリューションに参入し、サービス範囲の拡大を図り、さらに保守・運用業務へと業務拡大が図られた顧客のことです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は56億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億89百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比2億23百万円増の10億1百万円となったこと、売上高の増加により受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比77百万円増の24億24百万円となったことによるものであります。

(負債)

負債総額は19億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円の増加となりました。これは主に、未払金が前連結会計年度末比70百万円増の4億49百万円となったこと、工事損失引当金が前連結会計年度末比24百万円増の30百万円となったこと、仕入の増加に伴い買掛金が前連結会計年度末比24百万円増の8億63百万円となったことによるものであります。

(純資産)

純資産は37億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億85百万円の増加となりました。これは主に、海外連結子会社への第三者割当増資により少数株主持分が前連結会計年度末比1億45百万円増の2億60百万円となったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は10億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果増加した資金は2億2百万円（前年同期は1億37百万円の減少）となりました。主な増加要因は、減価償却費の計上1億49百万円、税金等調整前四半期純利益の計上99百万円、工事損失引当金の増加24百万円、仕入債務の増加24百万円であります。また、主な減少要因は、売上債権の増加76百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果減少した資金は1億27百万円（前年同期は2億13百万円の減少）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出47百万円、投資有価証券の取得による支出42百万円、有形固定資産の取得による支出32百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果増加した資金は1億46百万円（前年同期は1億27百万円の減少）となりました。主な増加要因は、少数株主からの払込みによる収入1億70百万円であります。また、主な減少要因は、配当金の支払額31百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日付で公表いたしました平成25年3月期通期業績予想値に変更はなく、売上高103億円、営業利益2億63百万円、経常利益2億53百万円、当期純利益1億65百万円を見込んでおります。

〔注〕業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想値と異なる結果となる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,793	1,001,751
受取手形及び売掛金	2,346,501	2,424,256
商品	5,983	19,283
仕掛品	54,663	53,086
貯蔵品	3,990	2,141
その他	314,854	292,155
貸倒引当金	△6,321	△6,056
流動資産合計	3,497,464	3,786,617
固定資産		
有形固定資産	574,479	562,972
無形固定資産		
ソフトウェア	430,321	400,808
のれん	271,734	253,207
その他	15,364	15,276
無形固定資産合計	717,420	669,292
投資その他の資産		
その他	619,627	679,658
貸倒引当金	△2,443	△2,443
投資その他の資産合計	617,184	677,215
固定資産合計	1,909,085	1,909,479
資産合計	5,406,550	5,696,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	838,354	863,063
未払金	378,099	449,034
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	87,000	102,000
リース債務	5,238	7,164
未払法人税等	22,059	29,648
賞与引当金	11,795	8,870
工事損失引当金	5,290	30,266
その他	334,284	321,482
流動負債合計	1,692,122	1,821,530
固定負債		
役員退職慰労引当金	82,057	69,363
社債	5,000	—
リース債務	21,237	28,302
資産除去債務	11,544	11,621
その他	40,671	25,726
固定負債合計	160,511	135,013
負債合計	1,852,633	1,956,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,125	542,125
資本剰余金	584,263	584,263
利益剰余金	2,323,467	2,350,975
株主資本合計	3,449,855	3,477,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△463	45
為替換算調整勘定	△21,658	△12,509
その他の包括利益累計額合計	△22,122	△12,464
新株予約権	11,620	14,422
少数株主持分	114,563	260,230
純資産合計	3,553,916	3,739,553
負債純資産合計	5,406,550	5,696,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	4,403,742	5,067,572
売上原価	3,792,577	4,146,872
売上総利益	611,164	920,700
販売費及び一般管理費	776,811	827,505
営業利益又は営業損失(△)	△165,646	93,194
営業外収益		
受取利息	103	193
受取配当金	143	123
貸倒引当金戻入額	6,578	60
助成金収入	24,201	432
持分法による投資利益	—	5,878
その他	6,685	2,168
営業外収益合計	37,712	8,856
営業外費用		
支払利息	870	461
システム障害対応費用	1,124	413
為替差損	2,893	2,210
固定資産除却損	728	506
和解金	—	730
その他	—	110
営業外費用合計	5,616	4,432
経常利益又は経常損失(△)	△133,550	97,618
特別利益		
持分変動利益	—	16,172
特別利益合計	—	16,172
特別損失		
事務所移転費用	—	14,048
特別損失合計	—	14,048
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△133,550	99,741
法人税、住民税及び事業税	5,852	29,573
法人税等調整額	△57,698	15,561
法人税等合計	△51,845	45,134
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,704	54,607
少数株主損失(△)	△5,914	△4,401
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,790	59,008

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△81,704	54,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,393	509
為替換算調整勘定	3,357	5,474
その他の包括利益合計	1,964	5,983
四半期包括利益	△79,739	60,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,760	63,136
少数株主に係る四半期包括利益	△4,979	△2,545

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△133,550	99,741
減価償却費	164,651	149,197
のれん償却額	18,527	18,527
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,372	△265
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,565	△3,144
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△23,469	24,975
受取利息及び受取配当金	△246	△316
支払利息	870	461
事務所移転費用	—	7,858
持分変動損益(△は益)	—	△16,172
持分法による投資損益(△は益)	—	△5,878
売上債権の増減額(△は増加)	52,547	△76,145
たな卸資産の増減額(△は増加)	76,776	△9,754
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,331	24,059
未払金の増減額(△は減少)	△129,481	21,050
その他	△94,794	△6,095
小計	△124,438	228,098
利息及び配当金の受取額	246	316
利息の支払額	△844	△503
法人税等の支払額	△12,053	△25,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137,089	202,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,512	△32,727
無形固定資産の取得による支出	△146,260	△47,063
敷金及び保証金の回収による収入	1,421	17,336
投資有価証券の売却による収入	11,312	—
投資有価証券の取得による支出	—	△42,553
定期預金の払戻による収入	36,100	—
その他	△3,126	△22,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,065	△127,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△29,504	15,000
長期借入金の返済による支出	△11,239	—
社債の償還による支出	△39,000	△5,000
配当金の支払額	△63,000	△31,500
少数株主からの払込みによる収入	14,791	170,000
リース債務の返済による支出	—	△2,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,951	146,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,139	2,420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△475,967	223,958
現金及び現金同等物の期首残高	1,536,112	777,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,060,145	1,001,751

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループは、流通・サービス業向けに、情報システムの企画からソフトウェアの開発、システム運用・保守及びハードウェア販売等の総合的なITサービスと、業務プロセスの企画から必要なIT技術の導入、人材や設備の準備及び業務プロセスの運用までをトータルで受託するビジネスプロセスアウトソーシングサービスを事業内容としており、これらを統合し情報関連サービス事業を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。